

平成 30 年度
社会福祉法人カリタスの里

事 業 報 告 書

法人全体事業報告	1～11
特養・栄養	12～17
ショートステイ	18～19
松竹園デイサービス	20～22
ケアハウス	23～24
きたの輝き	25～27
居宅介護支援センター	28～31
地域包括支援センター かこがわ南	32～37
法人職員数	別紙 1
特養実績	別紙 2
ショート実績	別紙 3
松竹園デイ実績	別紙 4
ケアハウス実績	別紙 5
きたの輝き実績	別紙 6
事故報告書・ヒヤリハット集計表	別紙 7

社会福祉法人カリタスの里

平成 30 年度事業報告

I 法人

法人全体としまして、平成 30 年度は、平成 29 年度からの社会福祉法の一部改正に伴い、法人の経営組織のガバナンスの強化、情報開示、財務規律の強化、さらに福祉充実残額に伴う社会福祉充実計画において「地域への公益事業の具体的な取組」を重要視して運営を行いました。

私たちの役割、責務としては、「入居者、利用者」の一人一人のニーズに沿った介護サービスを提供することであり、仕事を通じて人の役に立てるという充実感が、職員の資質、能力の向上はそのままサービスの質に繋がります。その為に、職員研修の充実を計り職員の成長と法人の発展、双方を目指して努めました。

さらに課題である介護職員処遇改善について、福利厚生の実、職員の働きやすい環境整備に努めました。

平成 30 年 4 月より法人ホームページをリニューアルし、見やすくなりました。施設の情報発信や求人に関わるように努めました。色々な意見を取り入れより良くなるように改善していきます。

人材確保については、兵庫県老人福祉事業協会等と連携を密にし、介護業務イメージアップ推進事業に積極的に取り組み、別府西小学校、平岡北小学校、浜の宮中学校や西神戸特別支援学校高等部へ「介護の出前授業」を実施し、介護の仕事の魅力を伝え将来の介護職の担い手となれるよう啓発活動を行いました。

外国人技能実習制度受入れについても検討中です。現時点では職員数は充足していますが、検討は引き続き行っていきます。法人全体職員数 93 名となっています。（詳細法人全体職員数「別紙 1」参照）

毎月第 4 日曜日にデイサービスのフロアを開放し地域の方に参加して頂く「元気アップカフェ」を開催いたしました。12 回開催し、延べ 246 人の方に参加して頂きました。

平成 30 年度も「笑顔で」をスローガンに夏祭り等の法人全体行事を各事業所や委員会で連携をとり利用者やその家族地域の人たちと一緒に充実した時間を過ごすように努めました。

平成 30 年度理事・評議員会開催報告

会議名	開催年月日	場所	審議事項
監事監査	平成 30 年 5 月 9 日	松竹園 1 F 会議室	平成 29 年決算報告 平成 29 年事業報告
監事監査	平成 30 年 5 月 14 日	〃	〃
第 1 回理事会	平成 30 年 5 月 29 日	〃	平成 29 年度事業報告 平成 29 年度決算
第 1 回評議員会	平成 30 年 6 月 14 日	〃	平成 29 年度事業報告 平成 29 年度決算
第 2 回理事会	平成 30 年 11 月 29 日	〃	平成 30 年度上半期報告
第 2 回評議員会	平成 30 年 11 月 29 日	〃	〃
第 3 回理事会	平成 31 年 3 月 7 日	〃	平成 31 年度事業計画 平成 31 年度予算 役員改選の件
第 3 回評議員会	平成 31 年 3 月 22 日	〃	平成 31 年度事業計画 平成 31 年度予算 役員承認の件

1. 基本方針

社会福祉法人カリタスの里が掲げる社会的使命である「一人でも多くの方に、あらゆる出会いとふれあいの場と安らぎの空間を提供し、優しい眼差しと熱い情熱を持って介護する事」を基本姿勢に、当法人の基本理念を再確認し、全職員が取り組みました。

『見返りを求めない愛』を基調とした処遇に徹し、利用者の人格を尊重し、より家庭的な雰囲気の中で自由に生活する事をモットーに全職員一丸となり「明るく健康的で、生きがいのある豊かな生活」の為、精神的ニーズの把握に努め、個々の特性を理解し、豊かな人間関係を築けるように努めました。

2. 重点事項

- 1) 加古川市より、平成 29 年 3 月 6 日に定款変更の認可を受けました。新定款の通り 2 年目の理事会・評議員会・評議員選任委員会を開催しました。
- 2) 諸規定・諸規則の見直しを行い、労働条件の改善や、職員全員が分かり易いルール作りの為、人事考課制度を導入し、法人理念の達成・職員の育成の推進・職員の能力やスキルに応じた処遇への反映を目的として導入し、各部署責任者による個別の面談を年 1 回行いました。また、法人ハンドブックを活用、新人研修等にも活用しました。

- 3) 地域包括ケア体制整備に向けて、地域包括支援センターを中心に、行政や、各事業所と連携を計り地域に情報発信をし、社会福祉法人としての役割を担いました。
- 4) 質の高いサービスの提供をし、稼働率を上げ安定した運営を努めました。
- 5) 平成 30 年度は「笑顔で!!」をスローガンに利用者や仲間との信頼関係を大切に考え、家族様やその他来園される方が、笑顔で利用して頂けるように努めます。
またベストスマイル賞・元気で賞を設け素敵な笑顔やみんなを元気付けてくれる職員を全職員が投票し、優秀な職員を表彰しました。
- 6) 施設を開放し、「元気アップカフェ」を平成 30 年度も開催し、地域の方に多数参加していただきました。
- 7) 災害時の福祉避難所として機能を果たせるよう 2 市 2 町老人福祉事業協会や加古川市、高砂市と協力し、福祉避難所開設訓練を実施しました。浜の宮松竹園でも消防訓練を行いました。
- 8) 兵庫県老人福祉事業協会と協働し、福祉人材確保に向けた活動の一環として、近隣の中学校を中心に県老協が作成した DVD・リーフレットを活用しながら各学校へ挨拶をし、介護に関心を持ってもらう為の啓発活動を行いました。

3. 支援方針

- 1) 一人ひとりの人権とプライバシーを尊重し、個人に向けた視点をケアに取り入れ、利用者個人の「思い」を実現できるよう高品質なケアサービスの提供に努めました。
- 2) 全ての利用者を対象とし、残された能力を最大限に発揮すべく、心のリハビリも含め日常生活全般にわたり機能訓練に心掛け、認知症高齢者の方への理解を深めるためにドックセラピーや音楽療法等レクの充実を計り日常生活全般に楽しみながら機能低下を防ぐ取り組みを行いました。
- 3) 人生の最後を穏やかに迎えて頂く様に利用者とその家族のニーズに柔軟に対応し、各部署と嘱託医の先生と連携を強化し、終末期を安心して施設で過ごせるように努めました。
- 4) 施設を利用して楽しいと言って頂けるように、アクティビティに活気のある時間を提供し、特に外出時、外食時、カラオケ時や何かイベント時は特に職員が一緒になって明るく元気に努めました。

4. 会議・委員会

日々の支援と入所者と職員間、職員相互の人間関係さらに各職種の業務を円滑に、また合理的な施設の管理・運営を進めるために意見交換や検討を行い、職員の意見を反映させながら職員会議・各委員会を開催しました。

1) 職員会議

毎月第3水曜日17:45より、全職員参加による職員会議を開催し、施設における課題、調整及び報告事項について、職員間の情報交換を行い、業務執行の円滑化、情報の共有化を図ります。又、感染症予防、介護技術等講師を招き研修を行い、職員のスキルアップに繋げました。

2) 施設運営会議

毎月第3水曜日14:00より施設運営会議を開催し、施設運営上の課題、調整事項等について各部署の責任者が出席し、協議・決定しました。

3) 各種委員会

委員会名	開催日
技術向上委員会	第4月曜日
レクリエーション委員会	第2月曜日
夏祭り実行委員会	第1水曜日
給食・食中毒委員会	職員会議前週金曜日
看護・感染症委員会	〃
事故防止・身体拘束廃止委員会	〃
入所コーディネート委員会	〃
安全衛生委員会	〃
地域包括・居宅連絡会議	毎月1回
在宅委員会	第2水曜日
防災・緊急時対策委員会	年2回
広報委員会	第2木曜日
接遇委員会	第3月曜日
研修委員会	第3月曜日
褥瘡防止委員会	第1月曜日

開催時間：夏祭り実行委員会 17:45～

その他は、14:30～15:00 予定

5. 職員処遇

法人の給与体制について、職員本人の勤務成績等が給与に反映されるように人事考課制度を導入し、目標を設定し個人面談を実施しました。利用者から選ばれる施設を目指すには、職員個々の資質向上が必要不可欠です。法人の経営理念及び中・長期計画の策定を含め、職員が一丸となるように努めました。

また、介護人材の処遇改善にさらに充実して取り組むように努めます。

6. 防災避難訓練

防災設備の使用方法的周知と使用訓練、年に2度の業者による設備点検の実施、緊急時の対応訓練、福祉避難所開設訓練等安全で安心した生活が送れるように実施しました。

7. 情報の公開

- 1) ホームページをリニューアルし、見やすい画面での施設情報発信に取り組みました。
- 2) 介護保険制度に定められた介護サービス公表制度に協力し、社会福祉法に定められた必要な情報を自主的に開示し、情報公開を関係機関に提出しました。
- 3) 「カリタス通信」を毎月発行し、家族等へ情報提供をしました。

8. 職員研修

介護老人福祉施設の最も重要なサービスは、利用者に対するケアサービスであり、そのサービスは常に一定以上の品質で高レベルに維持され提供されなければ、利用者のニーズに合ったQOLの確保はできません。

その中で職員の資質の向上は、処遇向上の為に欠かすことのできない重要なものです。今後のケアの充実に向け必要な各種資格取得を推進し、その他にも、全老協・県老協・東播ブロック老人福祉事業協会・2市2町事業協会等の主催による研修会の参加、施設内にて看取り介護・身体拘束の廃止・感染予防・事故再発防止・接遇マナー等の研修会を行い、意識・意欲の向上を図りました。また、法人ハンドブックを活用し、基礎的な事に重点を置いて指導しました

平成30年度外部研修報告

主催者	研修内容・講師	場所	開催年月日
公益法人協会	社会福祉法人会計セミナー	大阪科学技術センタービル	H30.4.11
兵庫県社会福祉法人経営者協議会	社会福祉法人のポジティブなイメージ形成を目指す	神戸	H30.5.15
日本生命明石支社	自己表現とおもてなしの心 講師：花田景子	舞子ビラ	H30.5.30
東播ブロック	介護レクに紙芝居 講師：三本章代	小野市エクラ	H.30.6.5

加古川中央市民病院	摂食・嚥下障害とは 講師：窪田容子	加古川中央市民病院	H.30.6.28
東播ブロック	介護の毒は孤独です。 講師：高口光子	小野市エクラ	H.30.7.23
2市2町老人福祉事業協会	防犯訓練 講師：加古川警察伊美警部補	第二鹿児の郷	H.30.8.29
県老協	取材から見てきた認知症対策 講師：青柳吉得	葺合文化センター	H.30.9.1
県老協	終末期ケア対応向上研修会 講師：田中美佐子	兵庫県のじぎく会館	H.30.9.10.
東播ブロック	看取り、ご遺体はケアの通信簿 講師：鳥海房江	小野市エクラ	H.30.9.12
県老協	対人関係ストレス 講師：松岡千代	兵庫県福祉センター	H.30.9.14
県老協	終末期ケア 講師：高口光子	兵庫県福祉センター	H.30.10.4
2市2町老人福祉事業協会	避難訓練 講師：加古川消防・危機管理室	第二鹿児の郷	H.30.11.8
東播ブロック	その記録、本当に必要ですか 講師：高口光子	小野市エクラ	H.30.11.26
東播ブロック	介護現場でらくらく活用紙芝居 講師：三本章代	小野市エクラ	H.31.1.15
県老協	実践者向けエクセル研修 講師：県職員	兵庫県庁3号館	H.31.1.26
2市2町老人福祉事業協会	介護事故の記録の書き方、リスクマネジメント 講師：鳥野猛	鶴林園	H.31.1.26
県老協	組織を活用化するコーチングとは 講師：眞鍋一範	兵庫県福祉センター	H.31.2.5
県老協	取材からみえてきた認知症対策 講師：青柳由則	葺合文化センター	H.30.9.1
給食施設協議会	効果的なセルフケアの実際	播磨町中央公民館	H.30.4.2
栄養士会	南極シェフのよもやま話	加古川市庁舎	H.30.5.17
ネスレ	高齢者の栄養管理		H.30.5.15
全国栄養士会	介護職員報酬改定解説	新大阪丸ビル別館	H.30.5.14

給食施設協議会	災害現場からの発信～給食施設の備えと心がけ	加古川防災センター	H.30.9.20
兵庫大学	荷重平均、食品構成、施設基準の求め方	兵庫大学	H.30.10.4
姫路病院栄養士会	脂肪の話	姫路じばさんビル	H.10.11
兵庫大学	荷重平均、食品構成、施設基準の求め方	兵庫大学	H.30.11.1
兵庫県栄養士会	病態別の栄養素過不足判定・身体アセスメント	姫路商工会議所	H.30.11.5
姫路病院栄養士会	脂肪の話	姫路じばさんビル	H.30.11.6
兵庫県社会福祉事業団	栄養評価と栄養アセスメント・モニタリング	西播磨リハビリテーションセンター	H.31.20
姫路病院栄養士会	脂肪の話	じばさんビル	H.30.12.13
兵庫栄養士会	報酬改定にともなう福祉研修会	のじぎく開会	H.31.2.25

平成 30 年度施設内職員研修・行事報告

担当	研修内容	場所	時期
法人	平成 30 年度入社式	地域交流室	4 月 2 日
褥瘡委員会	褥瘡発生 0 を目指そう	松竹園デイ	5 月 16 日
技術向上委員会	摂食・嚥下障害食事介助のポ	松竹園デイ	5 月 16 日
法人	特養 家族会総会	地域交流室	6 月 2 日
法人	浜の宮中学校・志方中学校 トライやるウィーク	松竹園デイ きたの輝き	6 月 4 日～ 6 月 7 日まで
給食委員会	食中毒・感染症の予防 講師：サラヤ 真鍋様	〃	6 月 20 日
法人	勤続 5 年職員研修旅行	韓国	5 月 23 日～ 5 月 25 日まで
法人	「職業人と語ろう」 主催：東播磨地域ビジョン 委員会	別府西小学校 職員 2 名参加	7 月 10 日
技術向上委員会	救急救命講習会 講師：兵庫大学救急救命サ ークル	松竹園デイ	7 月 19 日

夏祭り実行委員	第 16 回納涼夏祭り	松竹園玄関前	7 月 21 日
技術向上委員会	おむつ勉強会 講師：リブドゥ	松竹園デイ	8 月 15 日
看護委員会	インフルエンザについて知ろう	松竹園デイ	9 月 19 日
法人	書道教室 講師：小西先生	会議室	9 月 28 日
法人	第 7 回浜の宮松竹園運動会	松竹園玄関前	10 月 10 日
看護委員会	看取り介護研修	松竹園デイ	10 月 17 日
法人	健康診断	松竹園 1 F	10 月 25 日
法人	全国老人福祉事業協会 全国大会	北海道	10 月 30 日～ 31 日
法人	別府中学校トライやるウィーク	松竹園デイ	11 月 5 日～ 9 日
法人	浜の宮中学校出前授業	浜の宮中学校	11 月 15 日
法人	冬期イルミネーション	松竹園玄関前	11 月 28 日～ 1 月 3 日まで
レク委員会	高齢者レクリエーション	松竹園デイ	11 月 21 日
接遇委員会	アンガーマネジメント研修 講師：日本生命 岡田氏	松竹園デイ	12 月 19 日
法人	もちつき	〃	12 月 28 日
法人	西神戸特別支援学校出前授業	神戸市西区	1 月 18 日
研修委員会	尿路感染症について 講師：ユニ・チャーム（株）	松竹園デイ	2 月 20 日
法人	職員旅行	大阪	2 月 22 日 3 月 5 日 3 月 10 日
法人	消防・避難訓練	特養	3 月 18 日



西神戸特別支援学校出前授業



防犯訓練風景



第16回納涼夏祭り



第7回運動会



冬期イルミネーション



もちつき大会



浜の宮中学校トライやるウィーク



鶴林保育園交流

平成 30 年度元気アップカフェ松竹園報告書

開催日	参加人数	実施内容	備考
H30.4 月 22 日	25 名	カラオケ	
5 月 27 日	14 名	健康教室・カラオケ	稲穂の会
6 月 24 日	20 名	機織り実演・カラオケ	機織り工房おりひめ
7 月 15 日	18 名	紙芝居	ちどり文庫
8 月 26 日	21 名	かき氷作り・カラオケ	
9 月 23 日	13 名	高齢者元気アップ講習会	栄養士会
10 月 28 日	23 名	タッピングタッチ	ブルースカイたかさご
11 月 25 日	23 名	書道教室	霞翠先生
12 月 23 日	28 名	フラワーアレンジ	
H30.1 月 27 日	24 名	カラオケ	
2 月 24 日	24 名	景品争奪じゃんけん大会	
3 月 24 日	23 名	コグニサイズ	地域包括
合計延人数	246 名		



稲穂の会



織姫工房おりひめ

9. 苦情処理

利用者の権利及び利益を擁護すると共に、施設サービスの質の維持、向上を図る為提供したサービスに関する利用者等からの苦情等に迅速、且つ適切に対応し、必要な措置を講じるように努めました。苦情処理の体制を確認し、適切な運営に心掛けました。

Ⅱ 事業別

平成 30 年度

特別養護老人ホーム浜の宮松竹園事業報告

1. 基本方針

一人でも多くの方に出会いと安らぎの空間を提供し、各々の方に、優しい眼差しと情熱を傾け、一人の人間としての尊厳を大切にした生活を提供していく事を、社会的使命であると考えています。また、社会背景や制度改正に伴い、時代に沿った健全で透明性の高い事業運営を行いました。

※特養実績 別紙2 参照

2. 目標

1) 入居者様の希望に沿った個別ケアの充実

- ・半年に1回サービス担当者会議（ケアカンファレンス）を開催し身心の状況について必要な情報や本人のニーズを多職種が共有し、画一的でない個別支援が総合的に実施し、介護支援専門員が中心となりチームケアを行ないました。

2) 安全で安心できる生活を実現

- ・入居者の身体状況に合わせた福祉用具の選定や介助方法を常に検討し、介護事故の防止に努めました。

3) 看取りケアの充実

- ・医師より医学的知見により回復の見込みが無いと判断された場合、本人およびご家族が延命治療を望まれない場合、看取りの指針を基にその人らしい最期を迎えていただけるよう多職種が連携し看取り介護を実施しました。平成30年度は16名の方が退所され内6名の方が施設での看取りをされました。

4) ボランティア、実習生の積極的な受け入れ

- ・地域のボランティアや実習生を積極的に受け入れ、施設及び高齢者福祉事業への理解を深めてもらうように努めました。

3. 重点課題

1) 健康管理

- ・定期的なバイタル測定および日々の様態観察に努め、異常がみられる場合は看護師を中心として、嘱託医と連携し受診等の適切な対応が図られるよう努めました。
- ・毎月栄養カンファレンスを実施し、必要に応じて食事内容や食事形態の変更、栄養補助食品の提供を検討し、食事面からの健康維持をサポートしました。

2) 褥瘡に対する取り組み

- ・職員研修の実施や、利用者個別の対応表を作成、適切なマットレスの検討などを実施し有病者0を目標に取り組みました。年度当初10名であった有病者は年度末に4名と減少し、症状も軽度となっています。

3) 介護事故発生0への取り組み

- ・ヒヤリハット報告書の提出を励行し、事故防止に対する常日頃から意識向上に努めました。
- ・提出された事故・ヒヤリハット報告書は朝礼で発表し職員間で周知を図り、その後速やかに該当部署で再発防止策を立案しました。
- ・毎月事故防止委員会を開催し、再発防止策のモニタリングや実施状況について検討しました。(※事故ヒヤリハット集計「別紙7」参照)

4) その人らしい最期を迎えていただくための看取り介護

- ・看取りの指針に基づき、施設で看取り介護を希望される方が安心して最期を迎えられるよう嘱託医師が中心となり取り組みました。
- ・日ごろの生活の中から、利用者およびご家族の意向を確認し、死に至るまでの期間、その方なりの充実した終末期を過ごしていただけるよう、多職種が連携して支援しました。

「看取り」で亡くなった方：6名

5) 認知症ケアの充実

- ・認知症に対する職場内研修を実施、また、外部研修へ積極的に参加することで認知症に対する理解を深め、認知症ケアの向上に取り組みました。

6) 地域との連携

- ・学生や地域のボランティア、専門学校、高校生、大学生等の実習生、トライや

るウィークの中学生を積極的に受け入れ、施設への理解を拡大し、利用者サービス向上の一助としました。

7) 個別機能訓練の推進

- ・利用者個々に応じた計画に基づき、機能訓練を実施・モニタリングを行い、利用者の生活機能の維持向上を目指しました。

8) 新規入居者の受け入れ

- ・施設見学や入所相談について、相談員と介護支援専門員が随時対応しました。
- ・退所者がした場合、2週間を目安に新規入所者の受け入れを行いました。

退所者：16名

入所者：18名

平均日数：19.2日

9) QOLの向上

- ・個別機能訓練の充実を図り計画書に沿ってその人に合ったリハビリを提供し、記録に残しました。
- ・集団及び個別で楽しめるレクリエーションを提供することで、余暇時間の充実を図りました。

4. 日課等

その人らしく生活していただけるように、出来る限り個々の生活リズムに合わせたサービスを提供しました。

【特養1日の流れ】

0：00～	夜間巡視・随時排泄	17：00	夜勤職員へ申し送り
6：00	起床	17：50	夕食
7：30	朝食	19：00	着床
9：30	ラジオ体操 バイタルチェック	21：00～ 24：00	消灯 随時排泄ケア・巡視
10：00	喫茶・午前入浴開始	※ 排泄介助は1日最低5回	
11：45	昼食 食後口腔ケア		
13：30	排泄・バイタルチェック後入浴		
14：00	レクリエーション		
15：00	喫茶		
16：00	排泄介助		

5. 年間行事報告

季節を感じながら楽しんでいただける行事を企画しました。

4 月	花見
5 月	端午の節句
6 月	別府西こども会交流会、フラワーアレンジメント
7 月	七夕会、夏祭り
8 月	施餓鬼法要、流しそうめん
9 月	敬老会
10 月	運動会、遠足、猿まわし・獅子舞
11 月	ドッグセラピー
12 月	クリスマス会、餅つき
1 月	初詣、新年会
2 月	節分
3 月	ひな祭り

※毎月おやつ作りを実施

(行事の様子)





遠足



流しそうめん



敬老会



クリスマス会

6. 行事食

利用者ニーズの把握に努め食事を楽しんでいただけるよう行事食、イベント食を提供しました。

衛生面と感染症予防に注意し、利用者様一人ひとりにあった食事形態で、健康の維持管理だけでなく季節感にも配慮しました。

献立は、個人の嗜好を把握しできる限り個々に対応していく様に努めました。

4月	節句	巻き寿司
	花祭り	甘茶
5月	端午の節句	かしわ餅
6月	夏至	タコ料理
7月	七夕	流しそうめん
	土用の丑	鰻料理
8月	お盆	精進料理
9月	重陽の節句	栗ご飯 敬老の日メニュー
	敬老の日	敬老の日メニュー
10月	秋祭りメニュー	巻き寿司
11月	七五三	赤飯
12月	冬至	南京、ゆず
	クリスマス	鶏料理、オムライス、ケーキ

平成 30 年度

浜の宮松竹園ショートステイ事業報告

1. 基本方針

カリタスの里基本理念に沿って、介護サービス計画書に基づき施設機能を十分に発揮し、利用者のご家族を援助します。

※ショート実績 別紙 3 参照

2. 目標

1) その人らしさに応じた介護を目指す

- ・利用者、家族から在宅生活の状況を聞き、在宅生活でできていたことは、利用期間中も自身でできるように支援を行いました。

2) 暮らしやすい環境作り

- ・在宅での生活スタイルに合わせ、安心して快適な生活環境づくりに努めました。

3) 関係機関と連携した総合的支援

- ・利用中の情報をご家族および担当の介護支援専門員と共有する事で、計画的かつ効果的にサービスを利用していただけるとのようになりました。

3. 重点課題

1) 介護サービスの充実

- ・利用者及びご家族が望む生活が出来るよう、初回面談では十分なアセスメントを実施し、職員が情報を共有することで、統一したケアで快適に利用できるよう支援しました。

2) 個別介護提供への取り組み

- ・アセスメント情報を基に利用者およびご家族の希望に沿った支援を行いました。
- ・利用中に心身の状況に変化があれば担当介護支援専門員と連携し情報の共有に努めました。

3) 健康管理への配慮

- ・心身の状況や持病を理解できるよう、関係機関と連携して情報を共有し、毎日の関わりの中で身体状況の把握に努め、早期発見、早期対応に努めました。

- 4) 事故防止への取り組み
 - ・利用中の身体状況および精神状態の握に努めました。
 - ・ヒヤリハット報告書で事故に至る危険性を職員間で情報共有し、重大な事故の防止に努めケアの質向上に努めました。
- 5) 関係機関との連携強化
 - ・担当の介護支援専門員および利用者の身近な機関やサービス担当者との連携を強化し、利用者個々の要望やサービス利用に対する不安軽減に努めました。
- 6) 私物管理の徹底
 - ・貴重品は原則お預かりできない旨を事前に説明しました。また、入所時にチェック表とカメラを用い私物を管理し紛失防止に努めました。
- 7) 稼働率の向上
 - ・ショートステイの空床や特養の空床や入院による空きベッドの案内を関係機関に早めに行う事で、稼働率の向上を目指し、一人でも多くの方に利用していただけるよう努めました。
- 8) 感染症対策
 - ・利用日前日に体調を確認し、症状がある場合は受診をしていただき感染の有無を確認していただき感染を持ち込まないよう取り組みました。また、同居のご家族が感染されている場合は、濃厚接触者として自宅療養をお願いしました。
 - ・施設内での集団感染が認められた場合、利用前に発生状況を説明し任意の利用としました。

平成 30 年度

浜の宮松竹園デイサービスセンター事業報告

1. 平成 30 年度目標

- 1) 稼働率 90%を目指します。
- 2) デイサービスの利用を楽しんでもらえる環境作りをします。
- 3) サービスの質の向上、改善に努めます。

2. 平成 30 年度結果 ※ デイサービス実績 別紙 4 参照

- 1) 年間稼働率 81.9%でした。
 - 1) 稼働率 90%を目指します。
 - ・ 年間稼働率 81.9%でした。
12 月・1 月の稼働率が悪く、また長期間ショートステイに入所される方や、入院される方も例年になく多くおられ、目標である 90%には到達できませんでした。
 - 2) デイサービスの利用を楽しんでもらえる環境作りをします。
 - ・ 毎月壁に飾る月替りの絵を利用者と職員が一緒に作成し飾り付け、ダイルールの雰囲気明るくしました。
 - ・ 花見・春秋の遠足・法人合同での夏祭りや運動会等の行事にも出来るだけ多く参加いただけるよう、利用者全員に参加確認を行い、参加希望者は全員参加して頂きました。またその際、ご家族の参加希望も確認し、参加希望者は参加して頂きました。
 - 3) サービスの質の向上、改善に努めます。
 - ・ 担当者会議に参加し、利用者やご家族の意見を聞き、出来るだけ希望に沿えるにしました。
 - ・ 外部研修には積極的に参加し、職員の知識技術の向上に努めました。
 - ・ 事故ゼロを目指し事故発生時に職員で話し合い対応策を検討、実行して頂きました。また、一定期間後再検討を行いながら再発防止に努めました。
 - ・ 毎日終礼を行い、利用者の問題点やこれからの課題を職員で話し合い、情報を共有し業務に役立てました。

3. 元気アップカフェ 松竹園

毎月 20 名前後の方々に参加頂き、カラオケや陶芸教室や茶道教室等のプログラムを提供し、参加された皆様は楽しく談笑をされ元気アップカフェ松竹園を楽しみにしているといわれる方もたくさんおり、地域貢献事業としての目的は達成できたと思います。

また、施設の行事である夏祭りや餅つき大会等への参加を呼びかけ多くの方が参加して下さいました。

4. 年間行事

月 度	行 事 名	行事名(法人合同)
平成 30 年 4 月	花見(日岡公園) ※すみれマジック会 おやつ作り「どら焼き」 フラワーアレンジメント	
5 月	春の遠足 淡路島洲本市 おやつ作り 「こいのぼりクレープ」	
6 月	おやつバイキング ※花屋さんのフラワーアレンジ	
7 月	※志方カラオケ同好会 スイカ割り	第 16 回納涼夏祭り
8 月	流しそうめん かき氷 ※落語会 ※歌ボランティア ※オカリナコンサート	
9 月	敬老会（紙芝居、綿菓子作り） ※花屋さんのフラワーアレンジ ※和菓子職人	
1 0 月	※フラダンス	運動会 猿まわし
1 1 月	遠足丹波篠山「お菓子の里」 ※志方カラオケ同好会 ※和太鼓	
1 2 月	クリスマス会 （ハンドベル・ケーキ作り） ※はりま歌謡クラブ	もちつき大会
平成 31 年 1 月	初詣(別府住吉神社)	
2 月	豆撒き ※加古川人権擁護委員協議会 ※KEIRO アンサンブル	
3 月	※はりま歌謡クラブ	松竹園祭（5 月に延期）

	※ボストレーニング おやつ作り（甘酒）	
--	------------------------	--

※…外部ボランティア

平成 30 年度

浜の宮松竹園ケアハウス事業報告

1. 基本方針

- ・入居者が自分らしく心地よい感覚で、安心・安全に生活できるように支援しました。
- ・入居者の「その人らしさ」を大切に笑顔で生活できるような環境づくりに努めました。
- ・入居者が穏やかな生活が送れるよう、家庭的なぬくもりや家族のような関わりを大切にしました。
- ・地域行事への参加や地域の方々との交流を大切に努めました。

※ケア実績 別紙 5 参照

2. 重点課題

1) 健康管理

- ・毎朝 10 時に血圧測定・ラジオ体操を行います。
- ・血圧数値や身体症状に異常がある場合はケース記録で入力し助言しました。
- ・一人一人の体調を把握・観察し、異変者に対し早急に受診送迎しました。
- ・毎月 1 回体重測定・年に 1 回身長測定実施しました。
- ・毎年 1 回結核検査実施。季節性インフルエンザ予防接種を行いました。
- ・希望者は歯科往診を毎週水曜日実施。

2) レクリエーション・行事

- ・毎月、買い物・外食を企画・実施しました。
- ・春は岡山日生（参加者 8 名）へ秋は神河町砥峰高原（参加者 10 名）へのバス旅行を実施しました。
- ・四季折々の行事・イベントへの参加をしていただきました。
- ・訪問美容室の手配を行いました。

3) 生活支援

- ・入居者の体調や行動の変化が見られた際、家族様への情報提供・連絡を行い、相談窓口となり問題解決に努めました。
- ・入居者の虚弱化の進行に対して、各種サービスへの情報提供を行い協力・支援を行いました。

4. 年間行事報告

4 月	お花見
5 月	春のバス旅行
6 月	
7 月	夏祭り
8 月	
9 月	コスモス鑑賞 、敬老会 結核検査
10 月	運動会
11 月	秋のバス旅行・インフルエンザ予防接種
12 月	餅つき
1 月	初詣
2 月	
3 月	松竹園祭

※毎月 外食・買い物

志方デイサービスセンター きたの輝き

1. 基本方針

一人ひとりが在宅で自分らしく生き生きとした生活が続けることができるよう、利用者の意思や人格を尊重しながら、心のこもった温かいおもてなしと笑顔を大切に、通所サービスの提供を行いました。心身機能の維持や向上等、自立支援に向けたサービスを行い、楽しみや安らぎ、喜びを感じて日常生活の活性化を図りました。 ※きたの輝き実績（別紙 6 参照）

2. 目標

1) サービスの質の向上

- ・各ケアマネジャーの居宅会議支援サービス計画に沿った通所介護計画を作成し、個々に応じた介護支援を行いました。
- ・苦情や要望があった場合は、その都度職員間で話し合いすぐにサービス提供に反映させました。また、月一回の委員会で情報交換をし、改善すべき点は改善していきました。
- ・職員の介護技術・知識の向上のため、外部研修や施設での研修に積極的に参加しました。
- ・事故防止や感染症予防に努め、安心・安全な環境整備に努めました。事故発生の場合は、速やかに事故報告書を作成し対応策を検討しました。全職員に周知し、再発防止に努めました。

2) 利用者様の満足度アップ

- ・利用者及びご家族のニーズの把握に努め、ニーズに沿った対応やケア、相談援助を行いました。
- ・個々の利用者に合わせた趣味活動や外出行事等のプログラムを用意し、楽しんでもいただけるよう努めました。
- ・旅館でゆっくり過ごしているような、美しく心地よい空間作りの為に施設内や庭園の整理・整頓・清掃・清潔を心掛けました。

3) 経営の安定

- ・稼働率 90%以上を目標にしていたましたが、83.6%でした。
- ・居宅介護支援事業所等の高齢者支援機関へ広報誌と提供実績表を訪問配布し、積極的に交流を持ち、事業所の長所をアピールし情報交換を行いました。

- ・担当者会議に参加し親しみを感じてもらいました。利用者や家族の意見を聞き希望に添えるサービス提供に努め稼働率安定に繋げました。

4. 平成 30 年度行事報告

4 月	桜のお花見（志方東公園）
5 月	端午の節句メニュー・外食
6 月	春の遠足（ネスタリゾート・延羽の湯）
7 月	松竹園夏祭り・七夕メニュー・七夕レク・陶芸教室
8 月	外食
9 月	敬老の日バイキング・お祝いの品贈呈・外食
10 月	松竹園運動会・買い物レク
11 月	秋の遠足（伊丹空港）
12 月	クリスマス（昼食バイキング）・クリスマスケーキ もちつき（ぜんざい）
1 月	お正月メニュー 初詣（別府住吉神社）
2 月	節分メニュー・外食（ドライブ）
3 月	桃の節句メニュー

※随時、買物や喫茶等の外出も実施

※毎月、誕生日カードを作成しお祝い

☆ピラティス教室：毎週土曜日 13：30～14：00

☆陶芸教室：月 2 回（火曜日・木曜日） 13：30～15：00

★毎日の活動メニュー

カラオケ・脳トレ（ドリルやぬりえ等）・創作活動（カレンダー製作等）
手芸・囲碁・将棋等



花見（志方東公園）



春の遠足（ネスタリゾート）



敬老の日メニュー



秋の遠足（伊丹空港）



クリスマスバイキング



ひな祭りメニュー

平成 30 年度事業報告

浜の宮松竹園居宅介護支援センター

1. 基本方針

要支援・要介護状態になった場合においても、可能な限りその居宅においてその有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことが出来るように、適切なサービスが総合的かつ効率的に提供されるようにしました。

2. 目標

1) ケアマネジメント能力の質の向上

- ・統合的なアセスメントで、利用者本位の生活支援を行うことができるよう事業所内での課題整理、情報の共有を行いました。

2) 地域包括支援センターとの連携を強化

- ・地域包括支援センターが主催する研修や地域ケア会議等へ積極的に参加。
- ・困難ケース等の相談等を早期段階から行うなど三職種との連携を深めました。
- ・認知症キャラバンメイト活動等の地域住民向けの活動など協力しました。

3) 外部研修等への積極的な参加。

- ・3年に1回の法改正や介護保険の動向等の情報を得るためにも、外部研修に積極的に参加しました。またケアマネ協会の部会に参加し、主に南播磨支部の他事業所のケアマネジャーと顔なじみの関係性を築くことが出来ました。

3. 重点課題

1) 帳票類の整理

- ・複数の帳票類が存在するため整理整頓を行いました。
- ・介護保険証や負担限度額割合証、負担割合証の個人情報の取扱いを見直しました。
- ・各事業所からのサービス計画書の発行を依頼し管理するようにしました。

2) 委託・代行申請について

- ・地域包括支援センターより要支援者の委託を受けて介護予防の支援も行いました。
- ・加古川市より依頼のあった認定調査は全て受けて対応しました。
- ・介護保険の各申請等は担当ケアマネジャーが家族へ助言・代行申請を行いました。

3) 多職種連携を強化

- ・利用者、ご家族、地域包括支援センター、他の居宅介護支援センター、介護保険施設、医療機関、薬剤師、その他民生委員との連携を図り、相互関係を保つことで、担当利用者の生活を包括的に支援できるよう取り組みました。

平成 30 年度居宅給付管理件数実績

	要介護	要支援	デイ紹介内訳・要介護			要支援		
			総件数	松竹園	きたの輝き	総件数	松竹園	きたの輝き
H30.4 月	96	81						
87.5%	136.5 件							
5 月	98	77						
87.5%	136.5 件							
6 月	94	76						
84.6%	132 件							
7 月	98	77						
87.5%	136.5 件							
8 月	98	78						
87.8%	137 件							
9 月	101	80						
90.3%	141 件							
10 月	101	81						
90.7%	141.5 件							
11 月	99	82	54	29	4	39	8	1
89.7%	140 件							
12 月	94	80	53	25	4	39	8	1
85.8%	134 件							
H31.1 月	92	84	55	26	4	40	8	2
85.8%	134 件							
2 月	98	81	60	28	5	39	9	1
88.7%	138.5 件							
3 月	97	83	59	29	5	38	9	1
88.7%	138.5 件							

MAX39 件・(要支援 0.5 人換算)

39*4=156

平成 30 年度研修・行事報告

月	法人委員会	ケアマネ協会主催外部研修	外部研修
4 月	居包委員会・在宅委員会 夏祭り・接遇・委員・レク・ 研修	介護支援専門員協会主催総会・ 講演会(4 名)	おたがい様サロン見学 2 名 自立支援ケアマネジメント会議 見学 H30 主任ケアマネ更新研修 1 名
5 月	居包委員会・在宅委員会 夏祭り・接遇・委員・レク・ 研修	主任ケアマネ部会(2 名) 南播磨支部理事会 (1 名)	居宅包括きづきの事例検討会 地域の現状を知り正しく災害を 恐れ
6 月	居包委員会・在宅委員会 夏祭り・接遇・委員・レク・ 研修 キャラバンメイト連絡会	主任ケアマネ部会(2 名) 南播磨支部理事会 (1 名)	加古川市 6 包括合同研修会 認知症サポーター養成講座 1 名 参加 主任ケアマネ情報交換会
7 月	居包委員会・在宅委員会 夏祭り・接遇・委員・レク・ 研修 法人行事(夏祭り)	主任ケアマネ部会(2 名) 南播磨支部理事会 (1 名)	事例検討会「気づきの事例検討 会」 DVD 研修(4 名) 6 包括合同研修 3 項目「脳卒中」 「眼科の在宅医療」「透析患者ケ ア」
8 月	居包委員会・在宅委員会 夏祭り・接遇・委員・レク・ 研修	主任ケアマネ部会(2 名) 南播磨支部理事会 (1 名) 他法人共同の事例検討会	
9 月	居包委員会・在宅委員会 夏祭り・接遇・委員・レク・ 研修 キャラバンメイト連絡会 法人行事：運動会	主任ケアマネ部会(2 名) 南播磨支部理事会 (1 名) 南播磨支部研修会 4 名	ホワイトボードミーティング研 修 コミュニケーション技術研修 1 名
10 月	居包委員会・在宅委員会 夏祭り・接遇・委員・レク・ 研修	主任ケアマネ部会(2 名) 南播磨支部理事会 (1 名)	6 包括合同研修会 在宅医療研修会 1 名 介護支援専門改定更新研修 A 1 名
11 月	居包委員会・在宅委員会 夏祭り・接遇・委員・レク・ 研修	主任ケアマネ部会(2 名) 南播磨支部理事会 (1 名)	薬剤師と考える事例検討会

12 月	居包委員会・在宅委員会 夏祭り・接遇・委員・レク・ 研修	主任ケアマネ部会(2名) 南播磨支部理事会(1名)	体験型災害シュミレーション研 修 スーパーバイザーの気づき事例 検討会
1 月	居包委員会・在宅委員会 夏祭り・接遇・委員・レク・ 研修	主任ケアマネ部会(2名) 南播磨支部理事会(1名)	神経疾患を抱える地容赦への関 わり方と制度を理解する研修4 名
2 月	居包委員会・在宅委員会 夏祭り・接遇・委員・レク・ 研修	主任ケアマネ部会(2名) 南播磨支部理事会(1名)	加古川市6包括合同研修会 自立支援マネジメント会議につ いて
3 月	居包委員会・在宅委員会 夏祭り・接遇・委員・レク・ 研修 法人行事：松竹園祭	主任ケアマネ部会(2名) 南播磨支部理事会(1名) 他法人と共同のホワイトボー ド研修会	モニタリング訪問時にできる防 災研修 加古川市認定調査研修

地域包括支援センターかこがわ南 平成 30 年度事業報告書

1. 基本方針

高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることができるように総合相談窓口として総合的に支援を行います。市町村や介護、医療、福祉などの関係機関と連携し、地域の高齢者の健康、生活、財産、権利などを守る役割を果たしていきます。

【総合相談・権利擁護】

・総合相談窓口として柔軟に対応することを心掛け、保健・福祉・介護等に関する相談を受けて適切な助言や支援を行い課題解決に努めた。緊急・専門的な対応が必要と判断した場合は、専門機関と迅速に連携し、ネットワーク構築に尽力した。目標であったスムーズな連携が深まりつつある。

虐待出前講座を介護保険課の調査員や加古川保健センターの調査員に行い虐待対応についての流れ、学びを深めてもらうことに貢献した。目標であった広報活動については行ったものの、ケアマネジャーに理解が伝わっていない部分があり、次年度も周知に努める。

【包括的・継続的ケアマネジメント支援】

エリア内の介護支援専門員研修会を 4 回、6 包括合同研修会を 3 回開催。防災士を招き、地域の災害についての現状を知り、防災や減災について関心をもつ、きっかけをつくった。今後も災害が起きるリスクがあり、ケアマネジャーとしてどのように動くべきなのかを学べる機会を設ける。

・ 6 包括合同研修会

1 回目は「信頼関係構築のための課題整理」をテーマに講師を招きグループワークと演習をした。2 回目は災害が多発している現状で、ケアマネが不安に感じている「介護支援専門員として災害時における役割と対応」について情報共有、学びを深め、ケアマネが今できること、今後の課題等がわかり、有意義であった。

3 回目は、2 か月に一度定期的に行っている自立支援マネジメント会議について説明。その中で、理解を深め、現役のケアマネに身近に感じてもらうために講義と模擬会議を開催した。

・ ホワイトボードミーティングによる多職種事例検討会

ホワイトボードを活用して参加型の事例検討会を開催し、活発に意見交換をした。対象を可視化し、書き出すことで問題や課題が明確になり、今後の支援の方向性が見えてくることを学んだ。

・ 主任ケアマネジャー交流会

エリア内の主任ケアマネジャーの間で情報交換をし、抱えている悩み等を共有した。また地域ケア会議や障がい者基幹センター、キャラバンメイト等についての情報提供をした。主任ケアマネジャーが知らない情報もあり、参加者からは「他の主任ケアマネジャーと交流する機会が少ないので良い機会になった」と好評であった。次年度も開催予定である。

・民生委員とケアマネジャー情報交換会

地域には民生委員との連携が十分でないケアマネジャーもいる。交換会は、双方から活発に意見が出てお互いの仕事内容や役割を知る良い機会となった。

【在宅医療・介護連携】

病院からの介護保険代行申請依頼や退院後の担当ケアマネジャーの調整等を含め、在宅復帰がスムーズにできるように、必要に応じて病院に足を運び地域連携室との連携の強化に努めた。行政や関係団体が実施する研修等に積極的に参加し、医療知識の向上も図った。

【生活支援体制整備】

別府地区「ささえあい協議会」を市・社協・包括で共同して年4回開催。広域型サロン「おたがいさまサロン別府」を毎月開催。地域住民の50名以上が参加され、満足度は高い。ほとんどの参加者がご近所で声を掛け合って徒歩で参加し、支えあう関係が構築できている。看護師がサロンに出務し、血圧を測定し、健康講話や介護保険について周知に努めた。次年度は「別府町における見守り活動での情報共有ルールづくり」について話し合いを重ねる予定。

【認知症カフェ】

・松竹園元気あっぷカフェ

地域包括職員2名が毎回参加し協力してきた。3月には看護師による認知症予防体操であるコグニサイズを行い、好評であった。また、このカフェには集いの場のない地域の方が参加できる場になっている。次年度も認知症カフェがさらに活性化していくように関係者が話し合う機会を大切に、周知に力を注いで行きたい。

・尾上元気あっぷカフェ

毎回平均20名程度参加。包括としては、内容を代表と話し合いながらカフェが活気あるものになるように支援を行い、民生委員の協力も大きい。しかし「新メンバーが増えていない」「内容がマンネリ化している」等の現状があり、改善する為に次年度はエリアの福祉事業所に協力を依頼しており、一部は今後の回答待ちである。

・養田南町内会において、見守り声かけ訓練を開催

認知症になっても安心して生活ができる町づくりを目指し、日常的な見守り声掛け訓練を計画。町内会区長会を軸に、加古川市・社協・近隣の介護保険事業所の方々にも声かけし、5回の打ち合わせ会と、参加者が当日にスムーズに対応できるように認知症サポーター養成講座を開催。子供から高齢者まで幅広い年齢層の方が総勢80名参加された。来年度も継続して行っていく方向である。

・認知症サポーター養成講座

かこがわ南地域のキャラバンメイト（講師役）連絡会を年3回開催。親睦会も開催し、「顔の見える関係づくり」に努めた。メイトの人数も増加し、事務局負担が多忙になった為、リーダー及び副リーダー以外の全員に連絡が行き届くよう連絡網を作成。認知症サポーター養成講座は、年々依頼が増加し今年度は年15回出務した。小学校にアプローチをした結果、2校で開催した。尾上小学校では、「70年後の自分」をテーマに事前学習をしていたため、認知症についても理解が深まった。

・認知症初期集中支援チーム員

市と6包括のチーム員からの事例を通して、対応方法や医療へ繋がった過程を聞いて学習した。また民生委員や住民からの情報で訪問を行い、受診を強く拒否していたが、受診につながり、安定したサービスの導入ができたケースもあった。今後も、受診拒否や関わりを強く拒否するケースに対してのアプローチの工夫が必要である。

【地域ケア会議】

開催総数 16件

・自立支援ケアマネジメント会議 6件

2か月に一度開催した。事例に関しては、専門的なアドバイスによりケアマネジャーが利用者の力を引き出せたケースもあったが、会議開催後のフォローに関しては情報共有が不十分な面があった。次年度は今年度以上に力を注ぎ、後方支援を行いたい。

・地域ケア個別会議 10件

内容としては、認知症の方の見守り体制について・・・7件

認知症の疑いと被害妄想のある本人と家族との支援について・・・1件

不法入居中の高齢者の今後の支援について・・・2件

個別会議を開催したことにより、支援の方向性を導き出せ、支援者間で役割分担がはっきりして、有意義な会議もあった。次年度も必要に応じて積極的に開催したい。

- ・介護予防普及啓発

- ・サロンやいきいき百歳体操

いきいきサロンは、尾上地域 15 か所 47 回出務 参加人数 1172 人

別府町 11 か所 46 回出務 参加人数 1043 人。

一覧を作成し、エリア内のケアマネジャーや包括への相談者に紹介。ケアマネジャーの中に月一回のサロンの付き添いをしてくれたり、サロンの日に通所サービスが重複しないように配慮して計画を立ててくれるケアマネジャーも増えてきた。

【家族介護支援】

- ・介護している方や介護経験者に向けて年 10 回開催

日時	内容	場所
平成 30 年 4 月 2 日	介護者のつどいバス旅行	はなのいえ・太陽公園
平成 30 年 5 月 25 日	フラワーアレンジメント	尾上公民館
平成 30 年 6 月 22 日	紙芝居と演奏	別府公民館
平成 30 年 7 月 27 日	終活	尾上公民館
平成 30 年 8 月 24 日	認知症関連福祉用具	別府公民館
平成 30 年 9 月 28 日	コーラス	尾上公民館
平成 30 年 10 月 31 日	介護者のつどいバス旅行	西脇市 旧来住家住宅、玉木新雌（播州織）見学
平成 30 年 11 月 30 日	茶話会	別府公民館
平成 31 年 1 月 25 日	笑いヨガ	尾上公民館
平成 31 年 2 月 22 日	介助技術	別府公民館

【予防給付】

要支援認定者の給付管理件数、委託件数共に増加。要支援認定の方、事業対象

者の方の心身の状態の悪化を予防する為に介護予防支援、介護予防ケアマネジメントを行った。一部は指定居宅介護支援事業所に委託し、自立支援型マネジメントが行えているかどうかの確認を行った。

・事業対象者

事業対象者として、介護保険認定を更新せずに訪問型、通所型サービスを利用する人の数が増えていないので、周知に努めたい。

・平成30年度介護予防給付管理実績

平成30年4月599件（内委託323件）、5月589件（内委託309件）
 6月655件（内委託382件）、7月621件（内委託343件）
 8月613件（内委託344件）、9月629件（内委託353件）
 10月639件（内委託362件）11月647件（内委託370件）
 12月664件（内委託379件）、1月658件（内委託381件）
 2月662件（内委託391件）、3月654件（内委託392件）

・外部研修参加記録

日時	研修名	参加者氏名	場所
4/25 4/26	兵庫県介護支援専門員更新研修	藪内	兵庫県のじぎく会館
4/27	認知症相談支援センター研修	藤井	兵庫県私学会館
6/8	生活支援体制整備事業 基礎セミナー	岡村	兵庫県のじぎく会館
7/3	生活支援体制整備担当者会議	岡村	兵庫県農業共済会館 7 階大ホール
8/6	介護セミナー	岡村	中之島フェスティバルタワー
8/8 8/9	H30 年認知症地域支援推進員新人研修	藤井	TKP ガーデンシティ PREMIUM
8/17	認知症高齢者見守り・SOS ネットワーク	藤井	兵庫県私学会館 大ホール
8/23	介護支援専門員等 自殺予防研修	栗山	兵庫県私学会館 大ホール

10/17～ 12/12	兵庫県介護支援専門員更新研修	岡村	兵庫県のじぎく会館
10/25～ 1/31	介護支援専門員研修過程Ⅱ	岩井	兵庫県社会福祉研修所
11/2	認知症相談センター機能強化研修	片山	兵庫県私学会館
12/11	気づきの事例検討会と振り返り	藤井	明石市医師会館 3 階多目的 ホール
12/18	認知症カフェで始める住みよい地 域づくり	藤井	神戸市勤労会館大ホール
12/25	めざせ！プロの対人援助職4	藤井	明石市医師会館
3/22	平成 30 年度地域包括支援センタ ー職員等 研修会	栗山	兵庫県私学会館

		松 竹 園														
		事務局		栄養		医務		特養		ショート		ケアハウス		デイ		
		H29	H30	H29	H30	H29	H30	H29	H30	H29	H30	H29	H30	H29	H30	
		常勤	5	6	2	2	6	6	28	26	1	1	1	1	6	7
		非常勤	1	1			2	2	11	11					5	2
資格 取得 者	★ ケアマネジャー	常勤	1	2					1							
		非常勤														
	☆主任ケアマネージャー	常勤	1	1												
		非常勤														
	○ 社会福祉士	常勤	1	1												
		非常勤														
	◇ 介護福祉士	常勤	1	3					22	20	1	1	1	1	4	6
		非常勤							2	3					2	
	△ 看護師	常勤					2	1								
		非常勤														
	▲ 准看護師	常勤					4	5							1	
		非常勤					2	2								
	● 管理栄養士	常勤			2	2										
		非常勤														

				居 宅		地域包括		志方 デ イ		総 数	
				H29	H30	H29	H30	H29	H30	H29	H30
		常勤	非常勤								
資 格 取 得 者	★ ケアマネジャー	常勤	4	4	8	8	8	4	69	65	
		非常勤			1	1	4	8	24	25	
	☆主任ケアマネージャー	常勤	2	2	4	4			7	7	
		非常勤							0	0	
	○ 社会福祉士	常勤			3	3			4	4	
		非常勤							0	0	
	◇ 介護福祉士	常勤	4	4	5	5	3	3	41	43	
		非常勤					2	1	6	4	
	△ 看護師	常勤			2	2			4	3	
		非常勤			1	1	1	1	2	2	
	▲ 准看護師	常勤							5	5	
		非常勤					1	1	3	3	
	● 管理栄養士	常勤							2	2	
		非常勤							0	0	

☆平成30年度退職者 6名 入職者7名

☆休職者 3名（産休中）

法人全体 65+25+3（産休）=93名

平成30年度 特別養護老人ホーム浜の宮松竹園実績報告

【別紙2】

平成30年4月1日～平成31年3月31日まで

	合計	H30. 04	H30. 05	H30. 06	H30. 07	H30. 08	H30. 09	H30. 10	H30. 11	H30. 12	H31. 01	H31. 02	H31. 03
稼働日数	365	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31
平均利用者数	77. 8	78. 5	77. 5	77. 5	76. 7	76. 1	78	79. 4	77. 7	77. 3	77. 2	78. 6	79. 5
稼働率	97. 25%	98. 13%	96. 88%	96. 88%	95. 88%	95. 13%	97. 50%	99. 25%	97. 13%	96. 63%	96. 50%	98. 25%	99. 38%
月初在所有者数	949	79	79	79	80	79	79	79	80	78	78	79	80
新規入所者数	18	2		2		3		2		3	2	4	
退所者数	16	1		1	1	3		1	3	2	2	2	
月末在所有者数	948	79	79	80	79	79	79	80	77	78	78	80	80
利用延べ人数	28403	2356	2401	2324	2377	2358	2339	2462	2331	2397	2392	2201	2465
介護度別													
平均要介護	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3. 9	3. 9	3. 9	3. 9
要介護 1	147	30	31	30	25								31
要介護 2	730	60	62	60	62	62	60	62	60	62	62	56	62
要介護 3	6592	504	536	485	496	500	500	589	570	639	604	560	609
要介護 4	13108	1072	1077	1089	1112	1114	1133	1099	1016	1070	1140	1043	1143
要介護 5	7826	690	695	660	682	682	646	712	685	626	586	542	620
その他													
居住区分別													
従来型個室	7024	576	589	590	569	569	570	619	570	592	613	547	620
多床室	21379	1780	1812	1734	1808	1789	1769	1843	1761	1805	1779	1654	1845
構成比 (%)													
介護度別													
要介護 1	0. 5	1. 3	1. 3	1. 3	1. 1								1. 3
要介護 2	2. 6	2. 5	2. 6	2. 6	2. 6	2. 6	2. 6	2. 5	2. 6	2. 6	2. 6	2. 5	2. 5
要介護 3	23. 2	21. 4	22. 3	20. 9	20. 9	21. 2	21. 4	23. 9	24. 5	26. 7	25. 3	25. 4	24. 7
要介護 4	46. 2	45. 5	44. 9	46. 9	46. 8	47. 2	48. 4	44. 6	43. 6	44. 6	47. 7	47. 4	46. 4
要介護 5	27. 6	29. 3	28. 9	28. 4	28. 7	28. 9	27. 6	28. 9	29. 4	26. 1	24. 5	24. 6	25. 2
性別													
男	19. 1	19	18. 6	18. 1	18. 3	19. 3	19. 2	20. 1	20. 6	20. 3	19. 8	17. 8	17. 6
女	80. 9	81	81. 4	81. 9	81. 7	80. 7	80. 8	79. 9	79. 4	79. 7	80. 2	82. 2	82. 4
男 平均			82. 6	平均		27. 9	平均			836			
女 年齢			87. 1	入所期間		42. 3	入所期間			1270			
計			86. 3	(ヶ月)		39. 8	(日)			1194. 1			

平成30年度浜の宮松竹園ショートステイ実績報告

【別紙3】

平成30年4月1日～平成31年3月31日ま

	合計	H30. 04	H30. 05	H30. 06	H30. 07	H30. 08	H30. 09	H30. 10	H30. 11	H30. 12	H31. 01	H31. 02	H31. 03
稼働日数	365	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31
平均利用者数	8. 8	7. 3	9. 6	8. 8	10	9. 5	8. 7	9. 3	9. 1	8. 8	8. 1	8. 6	8. 2
稼働率	88. 00%	73. 00%	96. 00%	88. 00%	100. 00%	95. 00%	87. 00%	93. 00%	91. 00%	88. 00%	81. 00%	86. 00%	82. 00%
月初在所有者数	96	7	6	8	6	8	9	10	9	10	8	8	7
新規入所者数	304	20	30	24	30	33	26	21	25	26	22	23	24
退所者数	301	20	31	21	33	31	23	23	27	25	24	22	21
月末在所有者数	94	7	6	9	6	8	11	9	7	8	6	7	10
利用延べ人数	3229	219	298	264	311	296	262	289	272	273	250	242	253
介護度別													
平均要介護	3. 1	3. 4	3. 2	3. 4	3. 1	3	3. 1	3. 2	3. 1	2. 7	2. 7	3	2. 9
要支援 1	9	1					3	1	4				
要支援 2	62				16	7	7		3	16	11	2	
要介護 1	99	10	20	13	23	20				7	6		
要介護 2	889	44	74	48	66	92	63	68	69	104	101	74	86
要介護 3	994	60	90	83	64	59	95	121	90	73	61	92	106
要介護 4	894	62	67	72	108	87	64	68	92	73	66	74	61
要介護 5	282	42	47	48	34	31	30	31	14		5		
構成比(%)													
介護度別													
要支援 1	0. 3	0. 5					1. 1	0. 3	1. 5				
要支援 2	1. 9				5. 1	2. 4	2. 7		1. 1	5. 9	4. 4	0. 8	
要介護 1	3. 1	4. 6	6. 7	4. 9	7. 4	6. 8				2. 6	2. 4		
要介護 2	27. 5	20. 1	24. 8	18. 2	21. 2	31. 1	24	23. 5	25. 4	38. 1	40. 4	30. 6	34
要介護 3	30. 8	27. 4	30. 2	31. 4	20. 6	19. 9	36. 3	41. 9	33. 1	26. 7	24. 4	38	41. 9
要介護 4	27. 7	28. 3	22. 5	27. 3	34. 7	29. 4	24. 4	23. 5	33. 8	26. 7	26. 4	30. 6	24. 1
要介護 5	8. 7	19. 2	15. 8	18. 2	10. 9	10. 5	11. 5	10. 7	5. 1		2		
性別													
男	47. 4	47. 5	44	43. 2	53. 4	53. 4	51. 1	56. 1	53. 3	45. 8	44. 8	36. 8	36
女	52. 6	52. 5	56	56. 8	46. 6	46. 6	48. 9	43. 9	46. 7	54. 2	55. 2	63. 2	64

平成30年度 浜の宮松竹園デイサービス実績報告

【別紙4】

平成30年4月1日～平成31年3月31日まで

	合計	H30. 04	H30. 05	H30. 06	H30. 07	H30. 08	H30. 09	H30. 10	H30. 11	H30. 12	H31. 01	H31. 02	H31. 03
稼働日数	309	25	27	26	26	27	25	27	26	26	24	24	26
全体[実人数]	—	104	104	102	97	100	98	96	94	91	91	91	93
全体[延べ人数]	8860	802	834	779	763	758	730	771	734	678	621	660	730
全体[平均利用者数]	28.7	32.1	30.9	30	29.3	28.1	29.2	28.6	28.2	26.1	25.9	27.5	28.1
稼働率	82.00%	91.71%	88.29%	85.71%	83.71%	80.29%	83.43%	81.71%	80.57%	74.57%	74.00%	78.57%	80.29%
開始利用者数	82	44	4	2	1	6	3	5	4	2	4	4	3
終了利用者数	38	8			8	6		6	1	7	2		
介護保険[実人数]	—	104	104	102	97	100	98	96	94	91	91	91	93
事業対象	—	1	1	1									
要支援 1	—	13	12	11	10	11	10	13	13	14	13	8	9
要支援 2	—	28	27	28	28	27	28	26	25	25	28	30	30
要介護 1	—	25	27	23	23	25	25	24	23	21	21	22	22
要介護 2	—	21	20	19	18	18	17	16	16	16	17	17	17
要介護 3	—	9	10	12	10	10	10	10	8	5	4	5	8
要介護 4	—	6	6	7	7	8	7	6	8	8	7	7	6
要介護 5	—	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	2	1
介護保険[延べ人数]	8860	802	834	779	763	758	730	771	734	678	621	660	730
介護度別													
平均要介護	1.3	1.3	1.3	1.3	1.4	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.2	1.2	1.2
事業対象	11	5	4	2									
要支援 1	545	54	51	42	42	44	38	53	57	52	46	32	34
要支援 2	2457	196	202	214	202	211	200	215	195	185	200	213	224
要介護 1	2795	260	270	238	240	237	231	247	234	215	184	200	239
要介護 2	2090	203	210	186	177	163	167	177	172	156	148	159	172
要介護 3	592	53	67	64	67	68	64	57	41	36	16	21	38
要介護 4	313	28	25	29	31	31	27	17	30	28	23	24	20
要介護 5	57	3	5	4	4	4	3	5	5	6	4	11	3
サービス提供時間別													
3時間未満	54	4	4	3	4	4	4	5	4	6	6	6	4
3時間以上～ 4時間未満	396	22	23	25	28	26	34	34	36	53	42	35	38
4時間以上～ 5時間未満	115	20	20	19	20	8	4	5	2	4	5	3	5
5時間以上～ 6時間未満	99	14	9	15	21	17	12		4	3	1	2	1
6時間以上～ 7時間未満	432	10	29	28	57	31	37	40	43	43	34	36	44
7時間以上～ 8時間未満	7764	732	749	689	633	672	639	687	645	569	533	578	638

平成30年度ケアハウス実績報告

【別紙5】

平成30年4月1日～平成31年3月31日

	合計	H30. 04	H30. 05	H30. 06	H30. 07	H30. 08	H30. 09	H30. 10	H30. 11	H30. 12	H31. 01	H31. 02	H31. 03
稼働日数	365	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31
平均利用者数	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18
月初居住者数	216	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18
新規入居者数													
退居者数													
月末居住者数	216	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18
利用実人数	—	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18
一般入居	—	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18
体験入居	—												
利用延べ人数	6570	540	558	540	558	558	540	558	540	558	558	504	558
一般入居	6570	540	558	540	558	558	540	558	540	558	558	504	558
体験入居													

65歳未満		0
65歳～	男	0
69歳	女	1
70歳～	男	0
74歳	女	1
75歳～	男	1
79歳	女	1
80歳～	男	2
84歳	女	5
85歳～	男	0
89歳	女	4
90歳～	男	2
	女	1
合計	男	5
	女	13
	計	18

男	平均年齢	85. 4	平均	106. 3	平均	3189
女		82. 5	入居期間	66	入居期間	1980
計		83. 3	(ヶ月)	77. 2	(日)	2315. 8

平成30年度「きたの輝き」実績報告

【別紙6】

平成30年4月1日～平成31年3月31日まで

	合計	H30. 04	H30. 05	H30. 06	H30. 07	H30. 08	H30. 09	H30. 10	H30. 11	H30. 12	H31. 01	H31. 02	H31. 03
稼働日数	312	25	27	26	26	27	25	27	26	26	27	24	26
全体[延べ人数]	6520	567	613	575	570	567	524	570	524	532	471	481	526
全体[平均利用者数]	20. 9	22. 7	22. 7	22. 1	21. 9	21	21	21. 1	20. 2	20. 5	17. 4	20	20. 2
稼働率	83. 60%	90. 80%	90. 80%	88. 40%	87. 60%	84. 00%	84. 00%	84. 40%	80. 80%	82. 00%	69. 60%	80. 00%	80. 80%
月初登録者数	1618	125	125	127	129	133	134	136	141	141	142	142	143
開始利用者数	62	34	4	1	2	6	2	6	1	2		2	2
終了利用者数	8	2			2	1		1	1			1	
月末登録者数	1631	125	127	128	128	134	135	141	141	142	142	143	145
介護保険[延べ人数]	6520	567	613	575	570	567	524	570	524	532	471	481	526
介護度別													
平均要介護	1. 3	1. 4	1. 4	1. 5	1. 4	1. 4	1. 3	1. 3	1. 3	1. 3	1. 3	1. 2	1. 2
非該当													
事業対象													
要支援 1	547	43	62	53	52	44	44	57	42	37	40	37	36
要支援 2	1592	128	129	115	137	126	130	142	134	147	126	133	145
要介護 1	2302	188	208	185	197	217	194	212	184	185	161	176	195
要介護 2	1120	97	89	95	81	98	86	85	102	113	89	88	97
要介護 3	550	65	81	88	64	41	38	36	24	21	31	30	31
要介護 4	306	38	37	27	28	30	22	24	27	19	16	16	22
要介護 5	95		7	12	11	11	10	14	11	10	8	1	
その他	8	8											
サービス提供時間別													
3時間未満	3							1		2			
3時間以上～ 4時間未満	157	24	27	23	9	12	8	11	13	9	7	8	6
4時間以上～ 5時間未満	245	3	13	14	33	19	14	26	27	35	25	16	20
5時間以上～ 6時間未満	57	4	3	3	3	4	9	11	2	4	4	4	6
6時間以上～ 7時間未満	151	1	7	3	4	1	6	26	24	24	20	12	23
7時間以上～ 8時間未満	5907	535	563	532	521	531	487	495	458	458	415	441	471

【別紙7】

平成30年度 事故報告書集計

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
食事形態の誤り			1										1
配膳ミス													0
異物混入													0
禁止食品の提供													0
異食			1	1								2	4
誤嚥													0
転倒（独歩等）	1	2			3			2	2	2		1	13
〃（車椅子）		1	1	3	1		3	1	2	2	2	2	18
〃（ベッド）												1	1
〃（便座）					1								1
〃（椅子）	1								2	1		1	5
〃（浴室）				1				1					2
〃（移乗失敗）		1					1						2
転落・スレオチ（車椅子）	2	1		1	1	1	1	1		3	3	2	16
〃（ベッド）	1	1	1		2	1		1	1	1	1	1	11
〃（椅子）										1	1		2
〃（シャワーチェア）													0
浴室内事故（溺水）													0
火傷													0
薬のトラブル		1	1						1			1	4
離園													0
利用者取り違い													0
利用者同士のトラブル		1				1	1						3
介護ミス（転倒）													0
〃（転落）													0
表皮剥離等のケガ		1	1		2	1	1	1	1	1		1	10
その他									1		1		2
合計	5	9	6	6	10	4	7	7	9	11	7	12	95

《ヒヤリハット報告》	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
食事形態の誤り			1	1	1								3
配膳ミス											1		1
異物混入		1									2		3
禁止食品の提供													0
異食			1		3	3		2	1		1	2	13
誤嚥	1				1						2	1	5
転倒おそれ（独歩等）	1	2			1	1		2	1	1	2	2	13
〃（車椅子）			2			1				1	1		5
〃（ベッド）				1			1			1			3
〃（便座）								1		1		2	4
〃（浴室）							1						1
〃（移乗失敗）													0
転落おそれ（車椅子）								2	1	1	1	1	6
〃（ベッド）	1		1	2	2	2	1	1	6	2	2		20
〃（椅子）													0
〃（シャワーチェア）													0
窒息													0
浴室内事故（溺水）											1		1
火事													0
薬のトラブル			1				1			4	1		7
離園	2								2				4
利用者取り違い													0
利用者同士のトラブル	1	1	1	1					1			1	6
介護ミス（転倒）												1	1
表皮剥離等								1					1
打撲							1						1
その他	1			1	1				2	1		1	7
合計	7	4	7	6	9	7	5	9	14	12	14	11	105